

わが家の防災メモ

〈避難場所のメモ〉 災害別にどこに避難すればいいのかをメモしておきましょう。

| | 洪水のとき | 土砂災害のとき | 地震・大規模な火事 のとき | 火山現象が 見られたとき |
|-------|-------|---------|------------------|-----------------|
| 1次避難所 | | | | |
| 2次避難所 | | | | |
| 拠点避難所 | | | | |

〈家族のメモ〉 家族のデータを記入しておきましょう。

| 家族の名前 | 生年月日 | 血液型 | 持病・常用薬 アレルギーなど | 緊急連絡先 | 電話(勤務先/学校) |
|-------|------------------|--------------|-------------------|-------|------------|
| | M・T S・H 年 月 日 | 型 Rh(+・-) | | | |
| | M・T S・H 年 月 日 | 型 Rh(+・-) | | | |
| | M・T S・H 年 月 日 | 型 Rh(+・-) | | | |
| | M・T S・H 年 月 日 | 型 Rh(+・-) | | | |
| | M・T S・H 年 月 日 | 型 Rh(+・-) | | | |

緊急連絡先

●警察 110番

美幌警察署津別駐在所 **76-2610**

美幌警察署活汲駐在所 **76-4283**

美幌警察署本岐駐在所 **77-2230**

●火事・救急車 119番

津別消防署 **76-2189**

津別消防団活汲詰所 **76-4556**

津別消防団本岐詰所 **77-2412**

●津別町役場 76-2151

●津別病院 76-2121

●北海道電力 北見支店 (停電、電柱・電線などの設備に関する問合せ)

0120-06-0219

災害用伝言ダイヤル 171

電話を利用する声の伝言板です。

171 にダイヤルするとガイダンスが流れます

録音の場合 **1** を押す 再生の場合 **2** を押す

「被災者」は自分の電話番号を、
「被災者以外」は被災者の電話番号を
市外局番からダイヤルしてください

1 伝言を録音 ※30秒以内 **1** 伝言を再生

9 終了 **8** もう1度聞く

9 別の伝言を聞く

(※固定電話や携帯電話・PHS・IP電話が利用可能です)

携帯電話各社の災害用伝言版

携帯電話などを利用して安否を登録・確認が可能です。地震や風水害などで被災地との連絡が困難になった場合に災害用伝言版が開設されます。

各社公式サイトトップ画面「災害用伝言版」を選択

伝言を残す(登録する)場合、**登録**を選択 伝言を読む(確認する)場合、**確認**を選択

現在の状態を「無事です」などの選択肢から選び、任意で100文字以内の伝言を入力する

安否確認したい方の携帯電話の番号を入力して検索する

登録を選択

津別町 水害ハザード マップ

2019年2月版



もくじ

非常持出品・非常備蓄品 **1**

避難場所一覧表 **2**

1次避難所(指定緊急避難場所)
2次避難所・拠点避難所(指定避難所)
福祉避難所

風水害に備えよう **3~4**

避難するときの注意点
避難行動を確認しよう

水害時の情報の流れと避難の呼びかけ **5**

皆さんのとるべき行動 **6**

大雨や洪水に関する情報

地震に備えよう **7~8**

わが家の地震対策
地震が来たら…
停電に備えておきましょう

土砂災害を知る **9**

いろいろな土砂災害
土砂災害から身を守るために

津別町水害ハザードマップ **10~42**

索引図、No.1~No.15、市街地拡大図

わが家の防災メモ／緊急連絡先 **43**

非常持出品・非常備蓄品

非常持出品

できるだけ身軽に避難できるようにするため、非常持出品は避難に必要な物品や貴重品に限りましょう。非常持出品は、リュックサック等に入れて避難するときの通り道、玄関、寝室等に置いておきましょう。

ラジオ 照明器具

携帯ラジオ、
懐中電灯、
予備の電池、
ライター・マッチなど



非常用食品

缶詰・カンパンなど
火を通さずに食べ
られるもの、
水など



貴重品

現金（小銭も準備）、通帳、免許証、
健康保険証のコピー、携帯電話など



衣類、救急・衛生用品

下着、上着、タオル、軍手、雨具、
ばんそうこう、ウェットティッシュ
など



各自必要なもの

メガネ、コンタクトレンズ、
補聴器、入れ歯、
普段飲んでいる薬、
お薬手帳のコピーなど



移動に必要なもの

ハザードマップ
リュックサック
運動靴など



非常備蓄品

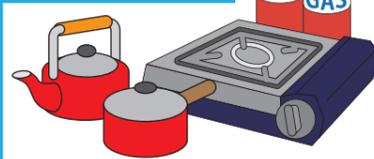
災害発生直後、飲料水や食料等は、入手することが困難な状況が想定されます。またライフラインが途絶えた場合を想定し、数日間（最低3日間）を生活できるように各家庭で備えておきましょう。

飲料水 食料品



カップ麺・レトルトご飯・缶詰
レトルト食品・冷凍食品など
水は1人1日3ℓが目安

カセットコンロ ガスボンベ 固形燃料 調理器具



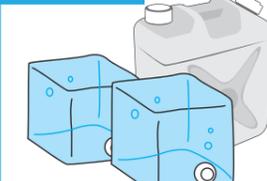
調理器具は、やかん、なべ、
おたまなど

洗面用具



水がなくても洗える
ドライシャンプー
などもあるとよい

生活用水



断水になった時の
ために、風呂や洗濯
機に貯水しておくの
もよい

寒さ・暑さ対策



身体を温める：ポータブルストーブ（電池式・ガスボンベ式）、
使い捨てカイロ、サバイバルシート、防寒着、
手袋、帽子、毛布など
身体を冷やす：冷却シート・瞬間冷却材など

長期保存できる日用品や生活必需品



ティッシュペーパー、トイレトペーパー、
ラップ、予備電池、予備ガスボンベなど、災
害時に入手困難になる可能性があるため、
長期保存できるものは多めに備えておく

避難場所一覧表

1次避難所（指定緊急避難場所）

災害が発生または発生するおそれがある場合の屋外の一時的な避難場所。災害の程度に応じて避難しやすい場所を避難者が選択します。

| 自治会名 | 1次避難所 (指定緊急避難場所) | 所在地 | 災害別区分 | | | | |
|---|---------------------|-------------|-------|-----------|----|------------|----------|
| | | | 洪水 | 土砂 災害等 | 地震 | 大規模 な火事 | 火山 現象 |
| 幸町、本町、西町、東町、新町、 旭町第1、旭町第2、旭町第3、 柏町、高台町、達美町、 緑町第1、緑町第2、緑町第3、 共和第2、共和第3、共和第4、 豊永第2、豊永第3、豊永第4 | 津別小学校グラウンド | 幸町68-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 津別中学校グラウンド | 豊永9-3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 津別高校グラウンド | 共和32-2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 中央公民館駐車場及び前庭 | 豊永6-1他 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 達美野球場 | 達美212-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 津別神社境内 | 西2条31 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 旧津別保育所広場 | 新町1-3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 豊美寿の家広場 | 豊永20-1 | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 高栄団地集会所広場 | 高台42 | × | × | ○ | ○ | ○ |
| | 活汲中央 | 旧活汲小学校グラウンド | 活汲258 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 本岐市街 | 旧本岐小学校グラウンド | 本岐105 | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 本岐地区多目的公園 | 本岐209-1他 | × | × | ○ | ○ | ○ |
| 相生中央 | 相生公民館広場 | 相生74-9 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 旧相生小学校グラウンド | 相生176 | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 相生総合交流ターミナル施設前 | 相生83-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 東岡、活汲第1、活汲第3、 岩富、東達美、達美、西達美、 下最上、上最上、高台第1、 高台第2、豊永第1、下美都、 上美都、上里、共和第1、 恩根第1、恩根中央、双葉、 沼沢、本岐第2、木樋、二又、 大昭、布川、相生第2 | 自宅周辺等の安全な場所 | | | | | | |

2次避難所は、災害が発生または発生するおそれがある場合の屋内の一時的な避難施設。
拠点避難所は、数日間の宿泊を伴う避難を余儀なくされるような場合の避難施設。
災害の種類や規模、避難人口その他の情勢を判断し、あらかじめ定められている避難収容施設の中から指定されています。

2次避難所・拠点避難所（指定避難所）

| 自治会名 | 2次避難所 | 所在地 | 災害別区分 | | | | 拠点避難所 (指定避難所) |
|--|---------------|---------|-------|-----------|----|----------|------------------|
| | | | 洪水 | 土砂 災害等 | 地震 | 火山 現象 | |
| 幸町、西町、東町、新町、 東達美、達美、下最上、上最上 | 津別小学校 | 幸町69-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | 津別小学校 |
| | 地域振興センター | 本町83-1 | ○ | ○ | × | ○ | |
| 旭町第1、旭町第2、旭町第3 柏町、達美町 | 中央公民館 | 豊永5-1他 | ○ | ○ | × | ○ | 農業者トレーニングセンター |
| | 農業者トレーニングセンター | 豊永6-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 高台町 | 高栄団地集会所 | 高台42 | × | × | × | ○ | 津別中学校 |
| | 町民会館 | 幸町65-1 | ○ | ○ | × | ○ | |
| 緑町第1 緑町第2、緑町第3 | 西町寿の家 | 緑町10-1 | ○ | ○ | × | ○ | 津別中学校 |
| | 津別高校 | 共和32-2他 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 共和第2、共和第3、共和第4 豊永第1、豊永第2、豊永第4、 高台第1、高台第2、下美都、 上美都 | 津別中学校 | 豊永6-2 | ○ | ○ | ○ | ○ | 津別中学校 |
| | 豊美寿の家 | 豊永20-1 | × | ○ | × | ○ | |
| 東岡、活汲中央、活汲第1、 活汲第3、岩富 | 活汲地域農業研修センター | 活汲265-1 | ○ | ○ | × | ○ | 旧活汲小学校 |
| | 旧活汲小学校 | 活汲258 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 西達美 | 西達美農作業管理休養施設 | 最上46-15 | × | × | × | ○ | 津別中学校 |
| | 上里農作業管理休養施設 | 上里156 | ○ | ○ | × | ○ | |
| 共和第1 恩根第1 | 共和地区集会所 | 共和17-6 | × | ○ | × | ○ | 津別高校 |
| | 恩根第1農作業管理休養施設 | 恩根152-1 | ○ | × | × | ○ | |
| 恩根中央 双葉 | 恩根寿の家 | 恩根162-1 | × | ○ | × | ○ | 本岐体育館 |
| | 双葉地区集落センター | 双葉51-1 | × | ○ | × | ○ | |
| 沼沢、木樋、二又、 本岐市街、本岐第2 | 本岐体育館 | 本岐105 | × | ○ | ○ | ○ | 本岐体育館 |
| | 大昭公民館 | 大昭125 | × | ○ | × | ○ | |
| 布川 相生中央、相生第2 | 布川会館 | 布川89-1 | × | ○ | × | ○ | 津別高校 |
| | 旧相生小学校 | 相生176 | ○ | ○ | ○ | ○ | |

福祉避難所

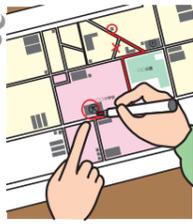
災害発生時に高齢者・障害者・妊産婦など特別な配慮を必要とする人を受け入れる避難所

| | | | |
|------------------|--------|--------------|-------------------|
| 特別養護老人ホーム「いちいの園」 | 共和25-1 | 0152-76-3205 | 0152-76-3501(FAX) |
| 津別町デイサービスセンター | 共和25-1 | 0152-76-1300 | |

風水害に備えよう

① 避難場所や避難経路を確認しましょう

日頃からハザードマップを見ておきましょう。

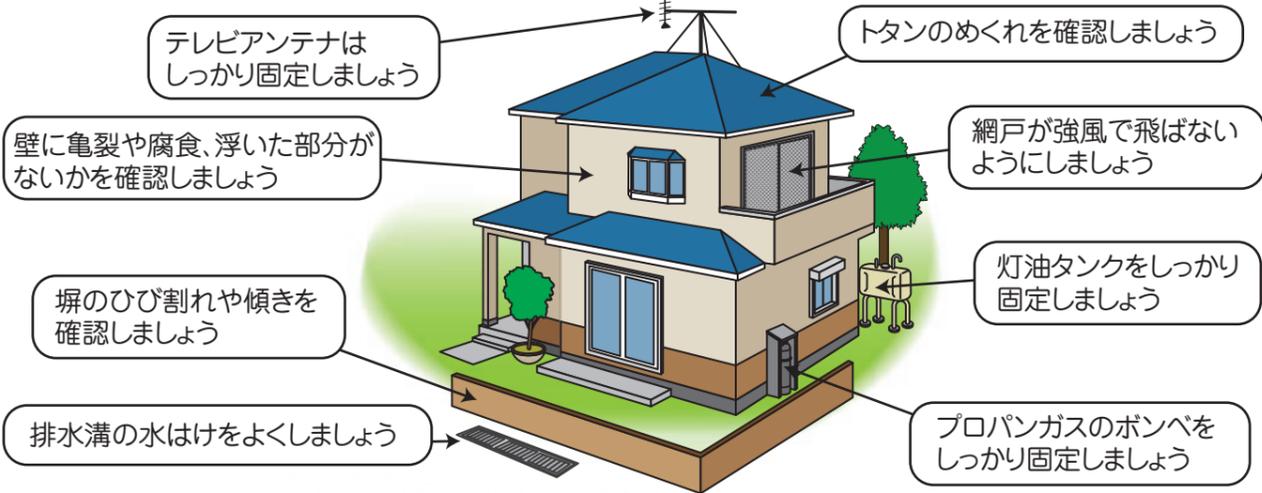


② 防災グッズを点検しましょう

非常持出品、非常備蓄品を定期的に確認しましょう。



③ 家の点検・整備をしましょう



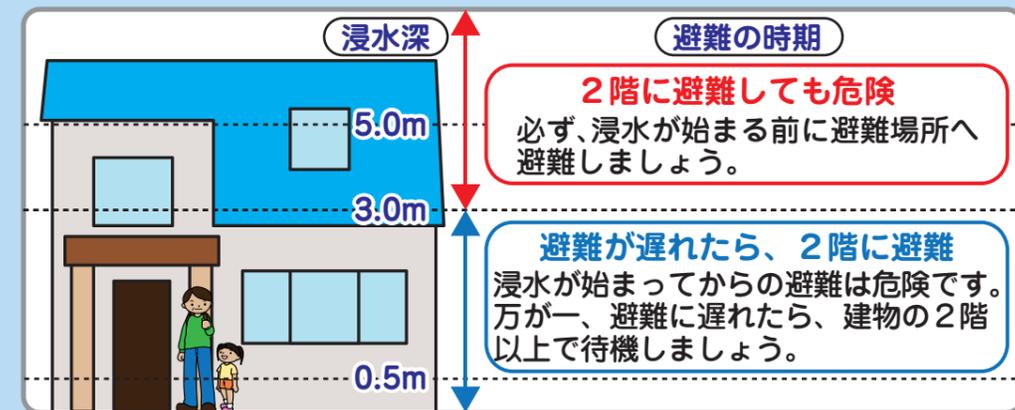
! 危険が近づいてきたら...



避難するときの注意点

適切な避難の時期を確認しよう

洪水の正しい避難行動は、「**浸水が始まる前に避難する**」ですが、万が一の事態に備え、ハザードマップより自宅の浸水深を確認し、P4の「避難行動を確認しよう!」のフローチャートや下図のイラストから避難を判断しましょう。



浸水の中の避難は、とても危険です!! 浸水前の避難を心がけましょう!

動きやすく安全な

避難するときは、動きやすい安全な服装にしましょう。ヘルメットや防災ずき保護しましょう。靴はしめられる底の厚い運動靴は浸水が深いと中たまるため動きにくく素足は厳禁です!

集団での避難を!

単独行動をせず、集団で避難しましょう。

恰好で

やすく、頭をひもで動靴に水がなります



歩ける深さに注意

歩行可能な水深は、ひざの高さくらい(約50cm)です。水の流が速ければ、20cm程度でも要注意です。無理をせず、高所で救助を待ちましょう。



足元に注意する!

水面下にはマンホールや側溝などの危険があるため、長い棒を杖代わりに突き、確認しながら進みましょう。



車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになるほか、交通渋滞を招きます。また、浸水した場合、水圧でドアが開かなくなる危険もあります。



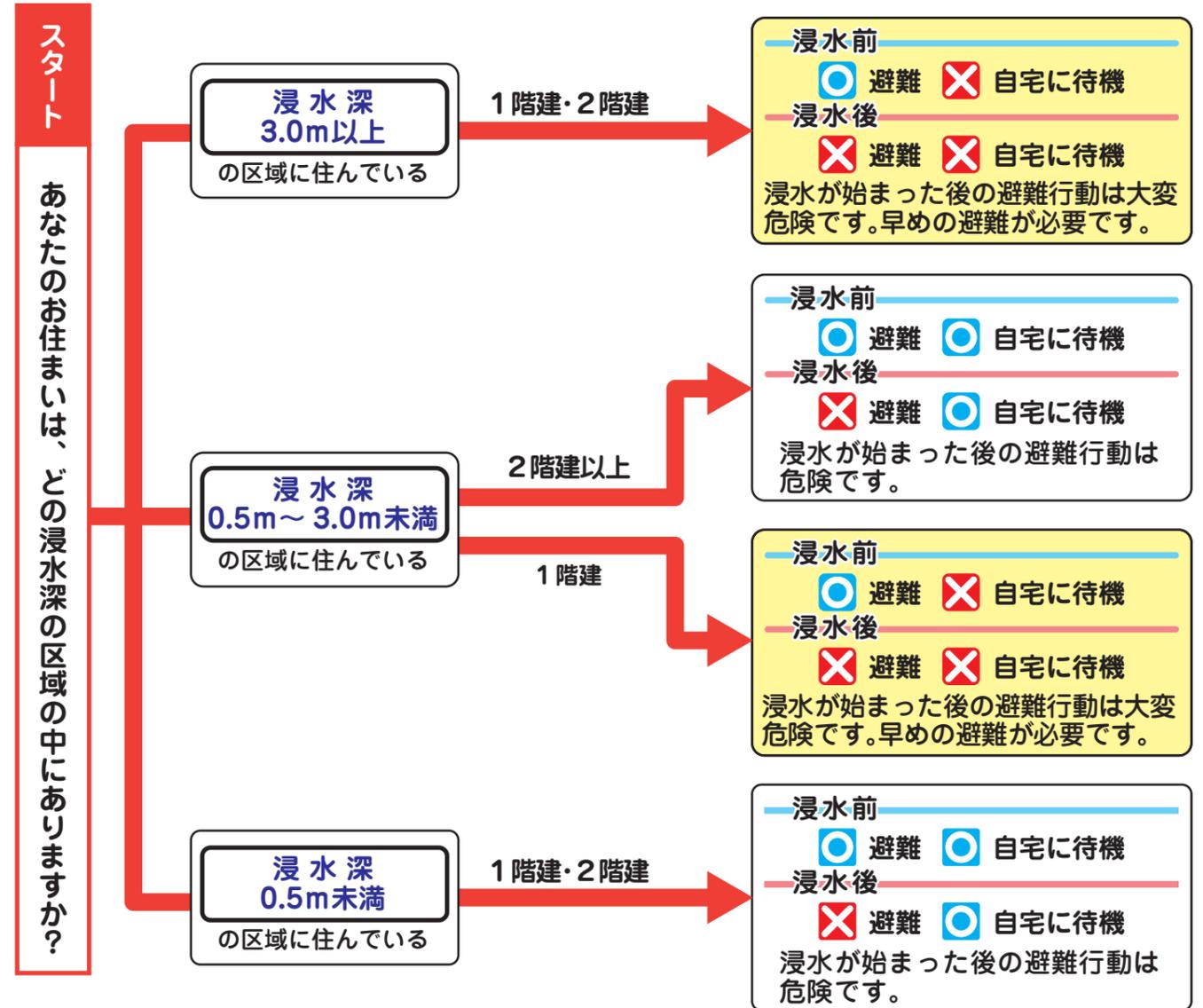
自宅待機への備え

自宅待機した場合に備え、P1「非常持出品・非常備蓄品を備えよう」を参考に、必要なものをそろえておきましょう。

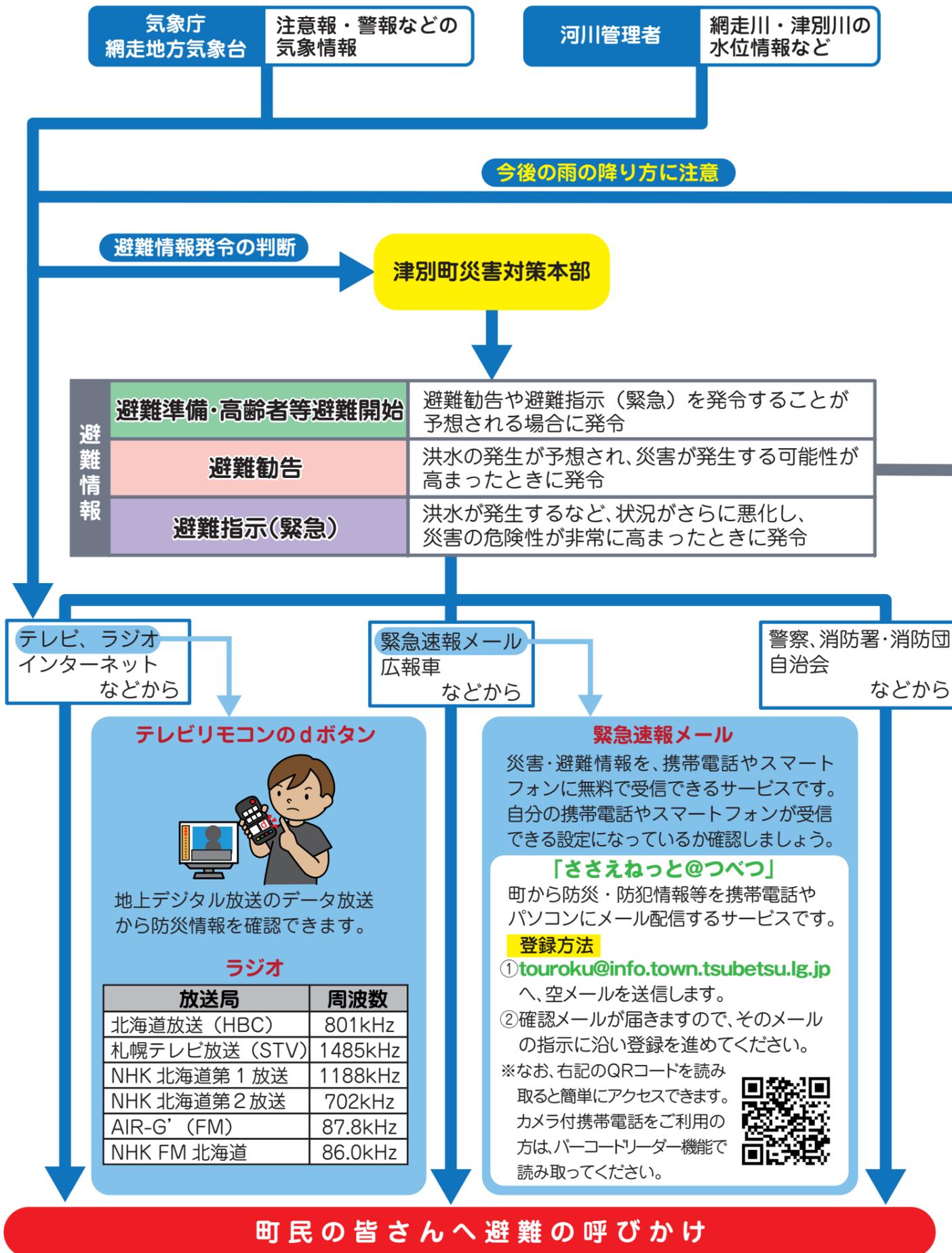


避難行動を確認しよう!

洪水の正しい避難行動は、浸水が始まる前に避難することですが、万が一の事態に備え、下のフローチャートからいざというときの避難行動について確認しておきましょう。



水害時の情報の流れと避難の呼びかけ



皆さんのとるべき行動

大雨などに関する注意報や台風に関する情報が発表されたら… → **今後の雨の降り方に注意しましょう**

- テレビ・ラジオ・インターネットで今後の雨量、台風の進路と上陸する時間、暴風についての気象情報を確認しましょう。
- ハザードマップで浸水の危険や建物が流される危険について確認しましょう。さらに避難場所も確認しましょう。
- 避難情報の種類を確認しましょう。

大雨などに関する警報が発表されたら… → **水害に備えましょう**

- さらに気象情報を確認しましょう。
- インターネットで水位情報を確認しましょう。
- 避難場所への避難を想定し、必要なものを用意しておきましょう。
- 家族との連絡方法について確認しましょう。
- 身の危険を感じたら自発的に避難をする心がまえを持ちましょう。

避難準備・高齢者等避難開始 が発令されたら…

- 避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児など）とその支援者は、避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

避難勧告 が発令されたら…

- 速やかに避難場所へ避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

避難指示（緊急） が発令されたら…

- まだ避難をしていない人は、緊急に避難場所へ避難しましょう。
- 避難場所に避難することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

大雨や洪水に関する情報

レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻）
レーダー観測などをもとに、降水、雷、竜巻の予報を提供しています。
<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

指定河川洪水予報
河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるよう、指定河川の水位または流量を示した洪水の予報を提供しています。
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

降水短時間予報
局地的に短時間で降る雨の予報を30分おきで6時間先まで提供しています。
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

北海道士砂災害警戒情報
土砂災害による被害の防止・被害の軽減のための情報を発表しています。
<http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>

川の防災情報
リアルタイム雨量・水位の情報を提供しています。水防警報、洪水予報やダム放流も通知します。
<http://www.river.go.jp/>

わが家の地震対策

家の周囲の安全対策

屋根

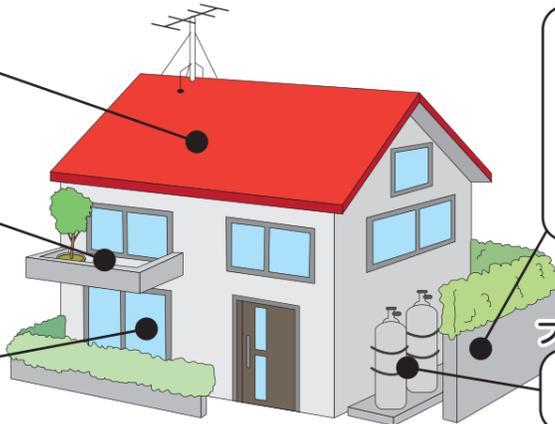
不安定な屋根のアンテナや屋根は補強しておく

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を落ちる危険がある場所には何も置かない

窓

飛散防止フィルムをはる



ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なため補強する
ひび割れや鉄筋のさびも修理する

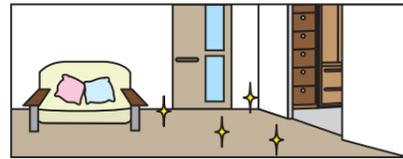
プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく

家の中の安全対策

① 家の中に逃げ場としての安全な空間を作る

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめておく。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



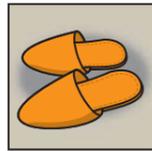
② 寝室、子供やお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子供やお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



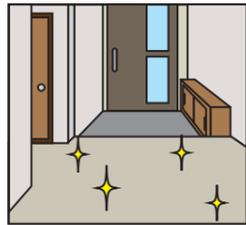
③ 家の中でケガをしない対策を

食器棚等の転倒によって、ガラスが散乱する可能性があるため、リビングや寝室等にスリッパなどを用意しておく。



④ 安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

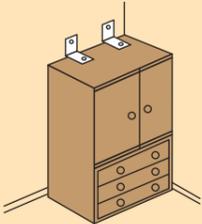
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに出入口をふさいでしまうことも。



家具の転落、落下を防ぐポイント

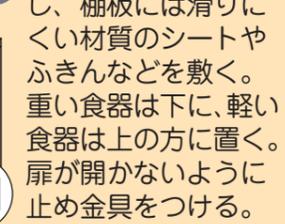
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



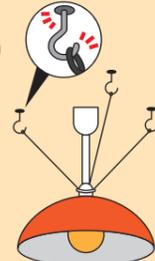
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



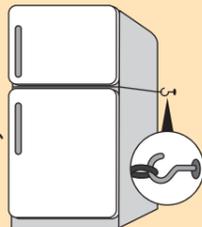
照明

チェーンと金具を使って数カ所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



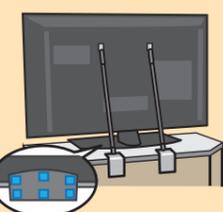
冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



テレビ

転倒防止バンドなどでテレビ台とテレビを固定したり、粘着パッドをテレビの足に貼り付けて固定する。



ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



地震が来たら…

地震発生～2分 グラッと来たらまず身の安全の確保

「地震だ!火を消せ!」といわれ続けてきましたが、現在、LPガスは震度5弱以上の揺れを感知すると自動的に火が消えるようになっています。

大きな揺れの中、コンロの火を消そうとすると、高温の湯や油が飛び散って、やけどをする場合があります。

大きな揺れの最中は「何もできない」ことがほとんどで、強い揺れを感じたら、まずは自分の身を守ることに専念しましょう。

2～5分 揺れがおさまったら火の始末・出口の確保

揺れがおさまったら、火の始末を行いましょう。出火しても炎が大きく燃え上がるまでには2～3分の時間があるので、被害を拡大させないために、小さい火のうちに消し止めることが大切です。

必ず消火器を備え、すぐに使用できるところに置いておきましょう。

消火器の使用方法は、日頃から確認しておきましょう。

また、余震に備え、ドアを開けるなど出口の確保を行いましょう。

5～10分 我が家の安全確認・情報確認・避難の準備

家族や隣近所の安全を確認しましょう。火が出ていたら大声で知らせ、協力して消火しましょう。

ラジオなどで情報を収集し、余震で被害拡大の恐れがある場合はすぐに避難を開始しましょう。

避難する場合には、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難しましょう。

外出中の家族のために避難先や安否情報を書いたメモを残すことも大切です。

停電に備えておきましょう

停電で起こりうる家庭内での影響

🔦 夜間、周りが見えない!

懐中電灯(LEDライト)、ランタンなどを必ず乾電池と一緒に備えましょう。ろうそくは火災を招くおそれがあるため使用は控えましょう。

💡 家電が使えない!

家電製品の使えない状況を想定して調理手段を備えましょう。(P1「非常持出品・非常備蓄品」参照。)また、テレビやパソコンが使えず情報収集ができなくなるため電池で動くラジオを備えましょう。

💡 冷暖房器具が使えない!

冷暖房器具が使えない状態でも、暖(涼)をとる手段を備えましょう。(P1「非常持出品・非常備蓄品」参照)

💧 断水した!

停電による給水ポンプの停止などによる断水に備えましょう。(飲料水の備蓄、常にお風呂に水をはっておく、給水された水を入れるポリタンクや、水を使わない簡易使い捨てトイレを備えておく)

📱 携帯電話に充電できない!

乾電池式充電器(乾電池も一緒に準備)とモバイルバッテリーを備えておくと安心です。

💡 物が買えない!売っていない!

停電が起きてからでは、店に人が殺到し、商品が不足するため欲しいものが買えません。また停電が復旧しても物流が途絶えているため、食料品や日用品がしばらく買えない可能性も高いです。災害時に役立つものや普段から必要不可欠なものを事前に多めに備えておくことは非常に重要です。また、ガソリンも普段から残量が1/3ほどになったら給油するようにしておくと安心です。

★ 停電復旧時の火災を防ぐため、ブレーカーの電源を落とし、復旧後に電源を入れるようにしましょう。